

萩 ネットワーク

第 57 号 2004 年 5 月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3178 FAX 0838-26-5458

萩ポータルサイト「萩・情報の駅」

<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

今年の萩は開府 400 年とまちじゅう博物館。

「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」をチャッチフレーズに、まち全体を博物館ととらえる「萩まちじゅう博物館」構想を今後のまちづくりの基本と考えています。その中核施設が、開府 400 年記念事業の目玉である萩博物館（11 月 11 日オープン）です。

まちじゅう博物館の管理・運営を担当する館長（マネージャー）を 3 月に全国公募し、大分県から萩に転居された高木正熙さんに決めました。また、萩博物館の高杉晋作資料室（高杉家から寄託された遺品を展示）を担当する学芸員として県内菊川町在住の一坂太郎さんが就任されました（3 ページ参照）。お二人の今後の活躍が期待されます。

萩の新しい顔

まちじゅう博物館長と
高杉晋作資料室長



萩博物館の長屋門

目次

5 月のイベント	P2
まちじゅう博物館長 高木正熙	P3
高杉晋作資料室長 一坂太郎	P3
関西の萩～藤田伝三郎～ [一坂太郎]	P4
ズームアップ [玉生征人]	P5
萩の伝統産業「アマダイ」	P6
萩の特産品～見島牛・見蘭牛の加工品	P7
萩発旬の味便り「キジハタ」	P7
長門峽生みの親・高島北海② [中津嘉和]	P8

菊ヶ浜を日本一美しくする会 [清水明人]	P9
同窓会だより、メールボックス（会員だより）	P9
市町村合併の動き、萩国際大学	P10
日本造船の父・渡邊蕎蔵 遺品の寄贈	P11
師範塾代表 [木村貴志]	P11
夢追人 [吉村 剛]	P12
内田青虹画文集寄贈、三輪華子個展、美術館だより	P13
情報アラカルト、映画「ほたるの星」	P14・15
大野毛利家と屋敷地の変遷（4）[樋口尚樹]	P16

5月もイベント満載!!

萩焼まつり

とき 5月1日(土)～5月5日(祝)

午前9時～午後5時30分

ところ 市民体育館

内容 萩焼即売(萩焼窯元・販売店65社による大即売会)、萩焼ろくろ体験(1人2000円、送料別。会場で受付)、萩特産品の即売(海産物等)、飲食コーナー、萩焼いろいろ展(各出店者が萩焼を展示、来場者の投票により、展示作品を抽選でプレゼント)

問い合わせ 萩商工会議所

(0838・25・3333)

萩・大茶会

萩開府400年記念事業

とき 5月3日(祝)・4日(休)
午前10時～午後3時

※3日午前9時30分 献茶式

ところ 萩城跡指月公園

内容

●薄茶4席(開府400年記念オリジナル懐紙付き)の接待

●琴・尺八の演奏(指月公園内)

午前11時～午後1時

茶券 1席券1600円、2席券11000円

問い合わせ 萩市観光課

(0838・25・3139)

萩・夏みかんまつり

全国からお景100選に選ばれた甘い香りを身にまとい、かんきつ公園を散策しませんか。

とき 5月8日(土)～23日(日)
午前10時～午後3時

ところ かんきつ公園・旧田中別邸(平安古)

内容 夏みかん商品の展示・販売(土・日曜日、特産品販売(土・日曜日)、抹茶席(土・日曜日)、遊覧船(8日、9日、16日、23日)など。

問い合わせ 萩市観光課

(0838・25・3139)

萩オープンガーデン

萩市内の25か所の庭園(個人所有の庭園も含む)を開放します。庭園によっては、食事や喫茶、酒蔵では利き酒もできます。

とき 5月17日(月)～23日(日)

午前9時～午後5時

ところ 指月公園、口羽邸、熊谷美術館、畔亭、俣宿天十平、一〇酒蔵、菊屋家、端坊、岩崎酒造、富士通萩臨海荘(平安古)、旧田中別邸、旧湯川家、桂太郎旧宅、大照院、金谷神社、東光寺、萩観光ホテル

入場料 入場用パスポート(2000円)で見学できます。有料施設も割引料金で入れます。

入場料 入場用パスポート(2000円)で見学できます。有料施設も割引料金で入れます。

バスポート販売所 各庭園、市役所観光課、萩市観光協会

問い合わせ 萩市観光課

(0838・25・3139)

浜崎伝建

おたから博物館

藩政時代から明治・大正・昭和中期にかけての多くの町家が残されている浜崎を舞台に、伝統的な町並みや町内の家々に伝わる「お宝」を見ながら、地元のおいしいものを楽しんでみませんか。

とき 5月23日(日)

午前9時～午後4時

ところ 浜崎本町筋周辺他

■見どころ

●おたから 狩野寿信金屏風、円山応挙の掛軸、中嶋治平の製鉄技術書、松陰門下の書、江戸時代の萩の地図、浜崎の古写真パネルなど

●催し 南京玉すだれ・大道芸、御船倉でのフルート演奏とコーラス、伝建物見学ミニツアー、フリーマーケット、竹とんぼの制作、紙芝居、クラシックカー展示、萩沖クルージング

●お食事処 雑魚場食堂(海の幸)、水産加工品(てんぷら)、押し寿司、焼き鳥、見島うに飯

問い合わせ 萩市まちなみ対策課

(0838・25・3104)

萩開府400年記念事業

萩の和船大競漕

藩政時代から約300年受け継がれている玉江浦地区の和船競漕「おしくらごう」。今年は、「村上水軍」ゆかりの地・広島県宮窪町の伝統的な和船のほか越ヶ浜・見島の和船を招待します。

とき 6月6日(日) 午前9時30分～午後2時

ところ 玉江浦橋本川下流域

内容 住吉神社「お船謡」披露(午前10時～)、宮窪町伝統和船の披露(10時30分～)、見島「おしくらごう」(10時50分～)、おしくらごう(11時～)、越ヶ浜中学和船競漕(11時30分～)、地区対抗和船競漕(正午～)

問い合わせ 萩市水産課

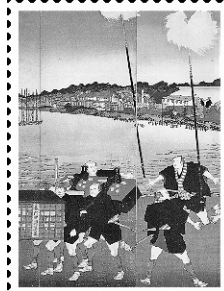
(0838・25・2230)

ふるさと切手発行

大名行列の絵柄のふるさと切手が全国発売されます。

発売日 6月21日(月) 価格 1シート(20枚) 1760円

発売枚数 40万シート



イメージ図

高杉晋作資料室長

一坂 太郎

就

任

萩まちじゅう博物館長

高木 正熙^{まさのり}

4月1日付けで萩市の嘱託職員として、萩まちじゅう博物館長に全国公募により高木正熙さん（大分県出身）、また11月に開館する萩博物館の高杉晋作資料室長として幕末維新研究家の一坂太郎さん（菊川町在住）が、それぞれ就任。両氏に今後の抱負についてお聞きしました。



晋作資料は産着から

死の病床で書いた和歌まで

高杉晋作との出会いは、NHK大河ドラマ「花神」。中村雅俊が演じる高杉晋作に強く心を惹かれました。大学進学後、高杉晋作関係のいろいろな文献や日記・手



旗振り役と調整役を
務めることができたらしい

36年間勤めた大分放送を平成14年12月に退職、1年間あまり自

宅でのんびりしていました。ある日、寝転がって新聞を読んでいたら、「萩まちじゅう博物館の館長公募」の記事が目に入り飛び込んできました。早速応募し、3月17日に内定をいただきました。

「民間法人での豊富な経験とエンジニアムに関する見識、更に、萩に夫人と共に移り住むという熱い思い」を選考委員会では評価いただいたようです。

萩市では、すでに広い範囲で住民が叡智を結集して歴史遺産の保存や活用に取り組んでおられる。また、この町に生を受けたことを誇りと感じ、積極的なまちづくり

紙に接するなか、英雄としての晋作ではなく、彼の人間的な側面に関心をもつようになりました。いろんな作家が描く、寝転んで酒を飲んだり、遊郭に入り浸ったりする破天荒なめちゃんな男ではなく、気位が高く、エリート意識の強い晋作の真の姿を追いかける日々が続きました。

大学在学中から歴史雑誌に執筆したり、出版社にも出入りしていましたが、卒業後、高杉家のご当主から声を掛けて頂き、平成2年に下関の東行記念館に学芸員として就職。昨年2月、高杉家が同館から晋作関連資料を引き上げ、同館が閉館となると同時に退職。

に参加されている。まだ萩に着任して数日と短い期間ですが、「これはいける！」と意を強くした次第です。

三角州を中心としたエリアに高密度で文化遺産が昔のままの姿で残っている町という基礎的な要件もあり、この「萩まちじゅう博物館構想」は、将来的には「世界遺産」につながるいく可能性も十分あります。このような夢のあるプロジェクトに関われることを、大変嬉しく思っております。

具体的活動としては、核施設となる萩博物館の学芸部門以外の運営開発業務が中心となります

この度、高杉家の遺品が萩に里帰りすることに合せて、萩博物館の特別学芸員として高杉晋作資料室長を務めることになりました。

高杉晋作資料の目玉は、日記、手紙、愛用の三味線、奇兵隊の旗、作戦指令書などいろいろあります。が、産着から死の病床で書いた和歌の草稿や葬式の祭文まで、生を受けて、そして亡くなるまで、その場その場の遺品が大事に残されています。若くして死んだ晋作を、高杉家がいかにか大切にしてきたかが分かります。

いよいよこの11月に萩博物館が開館し展示がスタートしますが、晋作ファンが集う場所として、そ

が、文化遺産を保護・活用していくとされていく各団体の方々や地域の自治会・商工会議所・婦人会・そして市の各部署など、この町を盛りたてていくとする多くの方々を手を携えて、1+1=2ではなく、2.5になるように、旗振り役と調整役を務めることができたいなと考えています。

■萩市民大学教養講座特別編
萩ものがたり出版記念
講師 一坂太郎
演題 「長州男児の肝っ玉」
とき 5月12日(火)午後7時
ところ 萩市民館大ホール
受講料 無料

して晋作の研究・情報発信の拠点となるよう努力していきたいと思
います。

▼プロフィール 兵庫県生まれ、
菊川町在住、37歳。大正大学文学
部卒業。著書に「高杉晋作の手紙」
「吉田松陰門下生の遺文」「高杉晋
作覚え書」「晋作語録」「高杉晋作
史料」「高杉晋作を歩く」「坂本龍
馬を歩く」他がある。

▼プロフィール 大分県生まれ、
萩市吉田町在住、61歳。松山商科
大学経済学部卒業後、昭和41年4
月(株)大分放送入社。報道部長、東
京支社テレビ部長などを歴任。平
成12年(株)OBS開発専務取締役、
平成14年12月退職

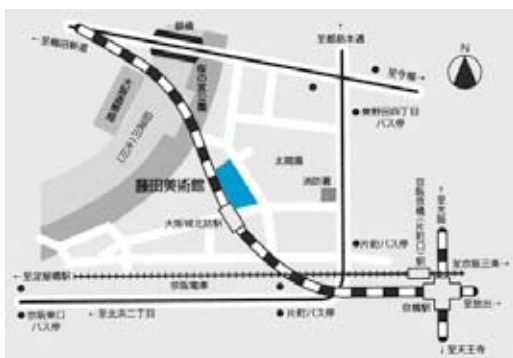
藤田伝三郎と美術コレクション



▶藤田伝三郎さんじゃ、◀藤田美術館外観



文化愛し 貴重な品々収集!!



藤田美術館案内図

●展覧会案内

開館 50 周年記念「藤田家の茶道具」開催中

と き 6月6日(日)まで、午前10時～午後4時30分

ところ 大阪市都島区網島町10-32

入館料 大人700円、高大生400円、小中生200円

※毎年、春季展は3月上旬～6月上旬、秋季展は9月中旬～12月上旬に開催

問い合わせ 06・6351・0582

藤田美術館は「アカガネ(銅御殿)」と呼ばれた、藤田男爵家の広大な屋敷(戦災で焼失)が立っていた大阪市都島区網島町にある。紫式部日記絵詞・玄奘三藏絵・古今和歌集断簡・曜変天目茶碗など、藤田伝三郎とその子平太郎の2代にわたり収集された国宝9点、重要文化財45点を含む美術コレクション5000点の収蔵で知られる。

大阪の大富豪として知られた藤田伝三郎は、萩城南片川町(現在の萩市南片河町)の造り酒屋の件として天保12(1841)年に生まれた。幕末の頃は志士活動に身を投じ、高杉晋作に師事したという。明治2(1869)年に長州藩陸軍局が廃止され、武器弾薬類が払い下げられるや、伝三郎はこれを引き受け、大阪に運び売却。さらに実業視察のために渡欧する志を持っていたから、大阪にとどまり機会を待った。

ところがある日、大阪城内の陸軍局に萩出身の兵部大丞山田顕義を訪ねた伝三郎は、軍人の靴を製造してみないかと誘われる。この話に乗った伝三郎は志を翻し、大阪で軍靴製造を始め成功をおさめた。

その後、藤田組を設立して橋や鉄道、巨大工場の建設工事を請うなど、持ち前の度胸と決断力を駆使した。

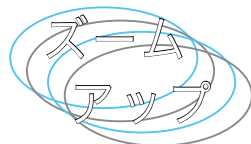
伝三郎が東京に出なかつたのは、必要以上に政治と密着することを嫌ったからだ。井上馨をはじめ長州閥の元勳たちの支援を背景としながらも、醒めた目で東京との距離感を保っていたのだらう。

大正元(1912)年3月30日、大阪網島の自宅で72歳の生涯を閉じた。

伝三郎らのコレクションを保存、公開すべく藤田邸倉庫の一部を改造し、藤田美術館が開館したのは昭和29(1954)年5月のこと。日本で2番目の私立美術館だった。いまも春秋の2回公開され、文化を愛した巨大な実業家が残した志の一端を伝承する。

(平成16年1月25日付朝日新聞山口県内版「関西の防長⑬」より)

萩市特別学芸員 一坂太郎 (菊川町在住)



(株) フローリック代表取締役社長

玉生 征人

(東京都練馬区在住 63歳)



萩の歴史ロマンと現実を共鳴させるよう
仕掛けていけば、広範囲の人々が繰り返し
訪ねてくるようになると思います。

私の近況

コンクリート造りの高層建築物を繁栄の象徴することに異論のあることは承知しています。それでもなお、経済活動の流れの中で増加していることはかくれもない現実ではないでしょうか。このような土木・建築工事にコンクリート混和剤の関与が大きいことを知る人は意外に多くないようです。

混和剤はコンクリート打設工事の改良・改善に役立つばかりでなく、耐震性や耐久性の向上を約束させるものとして、現在我が国の土木・建築工事には必ず使用されています。完成した建物や建造物の表面にその痕跡が残ることはありません。しかしその重要性から、日本工業規格(JIS)に規定され、最近の技術向上に合わせJISが改正されようとしています。

私はこのコンクリート混和剤を製造・販売し、またコンクリート打設技術の向上に寄与すべく新製品の開発を行う会社の経営にタッチしています。昭和39年頃に設立された藤沢薬品工業(株)系と日本製紙(株)系の関係会社を合併し、平成13年に設立した会社です。商品名をそのまま社名としています。現在業界シェア30%強で第2位ですが、トップの座を目指しています。経営に日夜没頭しています。

萩の思い出

故郷の思い出は甘く切なく、また楽しいものです。私にも萩特有の歴史ロマンにまでつながる懐かしい思い出があります。祖母のことです。祖母は明治28年、下級士族の貧しい家の子として生まれたそうです。子供の頃、女台場築造に参加したという祖母の祖母から女台場築造の時の話をよく聞かされたそうです。その頃、女台場は子供時代の祖母の遊び場だったそうです。祖母は遠くを見る目でそのころの情景を孫の私に話してくれたものです。

萩の者なら誰でも知っている、女台場の書き物になっていない歴史ロマンが、現実の女台場跡を散策するたびに、今は亡き祖母への追憶へとつながり、さらに私の知

らない少女時代の祖母のまぼろしまで引き出してくれるのです。このロマンは是非とも現地で私の娘達に伝えておきたいと思っています。残念ながらまだその機会を得てはいません。

萩への一言

大学院在学中、昭和40年の秋、講座の教授と助教を萩に案内しました。夕暮の堀内、萩城から萩高、さらに口羽家の家老門を見て春日神社から渡り口の旅館に降りついた時のことです。両先生からほとんど同時に「静かなところだった。よかったなあ。良い所だなあ」との言葉が出ました。

様子から余程深く感動されていることが分かりました。私は思わず「どこがそんなに良かったのですか」と尋ねました。「堀内、特に口羽家から旧明倫館跡にかけてだ。土塀にかこまれた屋敷に人の気配は感じられるが誰もいない。歩いている人もいない。その静けさの中で不思議な感情に襲われた。こんなことは初めてのことで」、「幕末から激動の時代をリードした人間集団がここを走ったかも知れない。今はただ静かなだけだがね」との答えが返ってききました。

両先生の気持ちの中に歴史ロマン

ンがその現場にいるという現実感と共鳴しあった結果として生じた感動があったのではないかと推測できました。その後何度となく萩を旅した時の感想として類似した話を耳にしています。

私はこれからも萩で生活するよううなことは無いでしょう。しかし萩のことを忘れるようなことは絶対にありません。作家でもありませんから歴史ロマンと現実を共鳴させるような発信源になることはできません。しかし皆さんでそのような仕掛を工夫していただければ、若者から老人までの幅広い範囲の人々が繰り返し訪ねてくれるようになるのではないのでしょうか。この萩ネットワークあるいは最近発足した「中間法人萩ものがたり」もそのような試みの一つかも知れませんね。

■プロフィール 昭和34年秋高卒(第11期)、38年鳥取大学農学部卒、46年名古屋大学大学院博士課程修了(農学博士)。同年山陽バルブ株式会社(現日本製紙株式会社)入社、商品開発研究所長(東京)、技術研究所長(岩国)、化成品事業本部事業推進部長を歴任。平成9年日本製紙(株)子会社サンフロー(株)代表取締役社長、13年藤沢薬品工業(株)子会社株式会社FPKを吸収合併、株式会社フローリック代表取締役社長に就任。

長門峡生みの親 高島北海②

長門峡探勝の頃の高島北海（70歳）



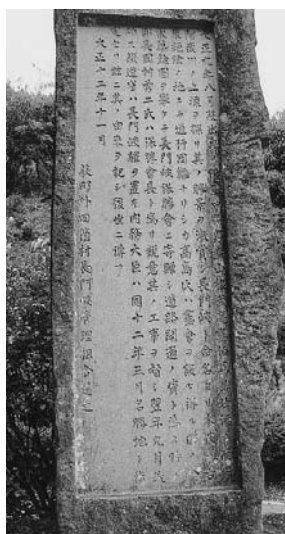
大正9（1920）年8月、高島北海70歳のとき、藩校明倫館で級友だった元近衛師団長・陸軍中将山根武亮の誘いで当時長門耶馬溪と言われた秘境を3日間にわたり踏査する。

北海はこの時の探勝について「郷里を抱いて流れる阿武川の上流は、すこぶる奇景の場所があるという。県内の人も追々知るところになったが、これを借りものである長門耶馬溪と名づけているのは不適当と思う。実地を検したうえ、なんとか改名もするし、果して美景ならば、これを天下に宣伝するの手段をとること、われら最後の一大事業ならずや」と。そして「出来ることなら私も写真と紀行文をもって天下に紹介し、また道路を建設し探勝者の便利を計ったならば、世人も私らの僭越の罪をゆるしてくれるだろう」と信念を披れきする。

北海らが長門峡を踏査したのは今から84年前。人跡まれな峡谷であり、兩岸絶壁対峙する長門（ちようもん）の形から長門峡と名づける。そして①空気の変化、②石脈の横断、③水中の巨岩及石色石理、④瀑布及淵湛、⑤天然喬木林の5大特色をあげ日本一と絶賛する。とりわけ空気の変化については「われらが平常文明のかつ女性的なる風景を見慣れたる目をもってひとたび本峡中に入れば神秘的、原始的、男性的なる空気ががぜんわれらの心頭を圧迫する。古より深山幽谷は龍蛇を生じ俊傑を出すと言いが、平素われらが英気を養生せんために得んと欲して最も得難きこの特種の空気に触るを得



トンネルもある高島探勝道



顕彰碑

るは実に愉快なことである」と。3日間の踏査を終えた北海らは大正9年8月10日夜に宿泊していた萩の富田屋で長門峡保勝会という組織を結成、①探勝道路5300mの建設、②この工事費は北海が描く長門峡真景画1幅100円で販売する画会を開催、など決定した。この会に集まったのは北海と山根中将、阿武郡郡長（岡村）、萩町長（小倉）、出雲村長（佐々木）、川上村長（森川）、篠生村長（口羽）らだった。

北海が山口県下各地で画会を開いて購入を受け付けたところ、予定を大幅に越えて申し込みは160幅に増え、工事費資金は総計1万7600円も集まった。探勝道路工事は大正10年1月から始まり、半年

後には峡谷の左岸に立派に道路が完成した。しかも工事費は5000円も

余り、その金でサクラ苗木1万本が購入され、道路沿いに植えられた。

こうした結果、大正12年、国の名勝として川上村、阿東町篠生、出雲地区135万8000㎡が保護対象地域となり、今日の国指定名勝・長門峡山口県自然公園が成立した。北海らが情熱を燃やした探勝道路はトンネルも含めて峡谷の遊歩道として年間60万人を越える利用者が足を運んでいる。



北海が描いた長門峡真景（防府市の毛利博物館蔵）

阿東町側の長門峡入り口には、大正12年に萩町ほか4村が建てた長門峡保勝会の活躍由来碑があり、高島北海の功労を顕彰している。春はサクラ、ツツジ、初夏は新緑、夏はフジ、秋はモミジ、冬はツバキと四季の自然美が展開、溪流ではアユ、イワナ、イダガ、夏はホタルが飛び交い、カジカの声が聞こえる。まさしく命の源である。探勝道路を登り降り、峡谷の瀬音を全身に感じるとき、高島北海の思いがしのばれる。昭和6（1931）年、81歳で生涯を終えた北海が愛してやまなかった長門峡の新しい空気に親しんでほしい。（完）

萩ケーブルネットワーク㈱
制作部顧問 中津嘉和

ボランティアで清掃活動 菊ヶ浜を日本一美しくする会



前列左端が清水事務局長、後列中央が大庭会長

今年96歳になられる赤木新吉翁の理念を引き継ごうと、「菊ヶ浜を日本一美しくする会」が昨年10月に発足しました。赤木さんは定年後、75歳から菊ヶ浜の清掃作業を始められて、ほぼ毎日3、4時間一途に清掃に従事されておられる。かくしゃくとした元慶応ボーイ。「菊ヶ浜のきれいな空気を吸っていただくと20年は生きられるよ」と今も後輩たちと清掃に精を出される。赤木さんには会の顧問をお願いした。

91歳の人生の達人。川柳をこよなく愛する文学老人でもある。2人に共通していることは、やりがいを見つけて家の中に閉じこもらずによく出回っておられること。元気の秘訣のようだ。2人の長老には末永いお付き合いをお願いしたい。

会には現在、105人の会員がおられ主に菊ヶ浜沿いの市民、企業で構成されている。会員の約7割が定年退職者であるが皆な元気だ。

菊ヶ浜はいつ来ても実に美しい。地形も美しいが、姿も美しい。何より砂浜が美しい。我々のふる

さとの原風景でもある。この白砂青松の菊ヶ浜をしつかり後世に引き継ぎたい。そんな思いから菊ヶ浜の会を発足させました。会では第1と第3日曜日の月2回、ボランティアで菊ヶ浜の清掃活動を行っている。

菊ヶ浜は多くの観光客が訪れる観光スポットの一つにもなっている。砂の感触が心地よいのだろうか。修学旅行生が感極まって裸足で砂浜を走るのをよく見かける。清掃には常時60人前後の会員が集まり、約1時間、気持ち良い汗を流す。みな満足。これからも、ずっと菊ヶ浜の清掃をしたいという。

先日、清掃活動のついでに菊ヶ浜の防砂垣の取替え作業を行った。要領よくてきばきと作業をこなす姿は頼もしく見えた。元気な中高年者の社会参加と生きがいのために、会員たちの能力を他に活用する手立てはないものだろうか。

事務局長 清水明人
(堀内在住 25・7032)

■プロフィール 昭和20年生まれ。青山学院大学法学部卒業後、萩市役所に就職。企画課・財政課・商工課の各課長、経済部、総務部の各部長を経て、現在は萩地区広域市町村圏組合事務局長。

同窓会だより

大阪指月会総会

大阪弥生会館（大阪市）

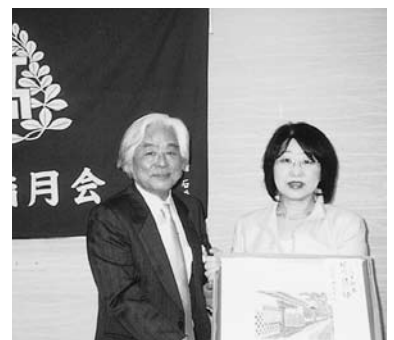
4月18日
75人出席
席 中山光夫
会長（萩高4期卒）
の挨拶「来年は大阪指月会の60回記念大会となります。前回の50回は神戸の震災で記念行事ができなかったもので、ぜひ何か企画したい。秋には、オリンピックの年に（4年に1回）開催している萩同郷会を4校合同同窓会として、計画している。林市長時代から続き20年目になる」。

今年4月、萩高校に着任された山下浩校長は、長門市・大津高校の出身。現在、萩高校で全国レベルにある柔道、合唱、囲碁に続き、

5つ以上県でトップにしたい、と挨拶されました。出席者の中には、萩から大阪への進出企業としてマシヤマ印刷の増山真吾さん（43期）は会社のPRを。恒例の中山会長が描かれた絵画オークションの1点「堀内の口羽郎」を購入されたのは、谷澤知子さん（21期）。

同窓会連絡先は、

06・6458・6008（中山）



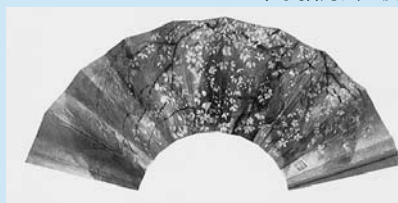
中山会長（左）と会長の絵画を購入された谷澤さん

会員からのお便り めーるばっくす

美しい桜の花が咲き誇る3月、東京・上野公園の東京都美術館において、3月26日から第25回国際扇面展が開催されました。各国から1,000点の展覧があり、扇の花が会場一杯に開いた作品の中から文部科学大臣賞に輝いたのは、千葉在住萩出身の長井昭子さん（萩高女31期卒）の作品で、萩の南明寺のしだれ桜を題材にしたものでした。3月28日の式典には河村建夫文部科学大臣も出席され、来賓祝辞では萩の話、受賞者長井さんが高校の先輩にあたるなども披露され、永井さんに直接賞状を授与されました。

扇面芸術は、古来よりの伝統、様式美を表現しながら現代的解釈を加味し、斬新性を打ち出す芸術性の高い文化として、国際的にも高く評価されているものであります。

東京指月会 鹿野俊二（東京都）



▲萩高女31期卒の長井昭子さんの作品（文部科学大臣賞受賞）

NHK総合テレビ「生活ほっとモーニング」で萩産「アマダイ」が全国放映で紹介されました。

「生活ほっとモーニング」で30分

朝の人気番組 生活ほっとモーニング（NHK総合テレビ）2月25日（全国放映）で萩の甘ダイが、その生鮮から漁法そして調理法と、30分にわたって詳しく紹介されました。

アマダイ漁20余年の経験を持つ越ヶ浜の井町照治さんの延縄漁船「久盛丸」にカメラクルーが同船、沖合い約40kmの漁場（井町さん曰く「アマダイの城」）でアマダイ延縄漁の一部始終を収録。2kmの長さの幹糸に90本の釣り針をつけた延縄仕掛を海に投入、この時期のエサはイカの切身。



▲「久盛丸」のアマダイ漁師：井町照治さん



▲萩産のアマダイ 鮮やかな朱色が鮮度の印

鮮度保持のため、まるでVIP待遇

番組では、特に釣り上げてからの鮮度保持の方法を詳しく紹介。釣り上げたアマダイは直接手で触れることなく、釣り糸を切ってイケスに。魚が終わって船倉の保管庫に丁寧に並べ、碎氷で優しくサンドイッチして、港に急いで帰ります。水揚げ後もアマダイ専用の発泡スチロールに丁寧に並べ、水分の蒸散を防ぐためにフィルムでラッピング、そして市場に運ばれます。

スタジオのゲストが「まるでV



▲VIP待遇のアマダイ（魚市場にて）

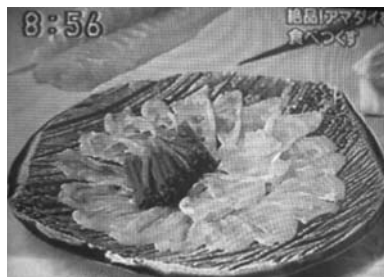
「VIP待遇!!」と驚くほど、丁寧に優しく扱われていました。体の70%以上と、非常に水分が多く、身も柔らかい、その分鮮度の落ちやすいアマダイを大切に扱う様子は、まさにVIP待遇でした。

アマダイは、萩が全国に誇れる産品

続いて、魚市場でのセリの様子を紹介され、やはり市場でも無造作に並べられた他の魚とは別格の扱い。鮮度の良い上物の選び方は、「魚体の姿形・色艶と、そして目の黒さ」と地元料理店「あじろ」の店主の弁。絶品の「薄造り」と、アマダイならではの「鱸の素揚げ」にアナウンサーも旨いを連発。地元漁家での煮付け・唐揚げ・茶漬け・酢締めなどアマダイの家庭料理も紹介され、アマダイの甘みがある優しい味を堪能。漁師の井町

さんも「20年間、アマダイ漁をしています。こんなに優しい味の魚は他にはいません」と。

萩沖合いに日本有数の大きなアマダイの漁場があること、そしてその漁場が港から比較的近いこと、そして、何よりも漁業者・流通関係者がまるでVIPを扱うように鮮度保持の努力をしていることから、萩産のアマダイは都市部の魚市場でも、非常に高い評価を得ています。このようにアマダイは、萩が全国に誇れる産品の筆頭格と言える訳です。



▲アマダイの薄造り



▲鱸の素揚げ

帰省、同窓会などにふるさとパック

萩・石見空港では、飛行機と宿泊代をセットにした格安プランを販売中です。ぜひ、ご利用ください。

■萩・石見ふるさとバック（東京大阪発着）

旅行代金（1泊朝食付）

東京発着 2万6900円
大阪発着 1万7100円

発着時間

【東京発】羽田発10:40発↓萩・石見着12:10着【東京着】萩・石見発18:35↓羽田着20:00
【大阪発】伊丹発16:50↓萩・石見着17:45【大阪着】萩・石見発12:40↓伊丹着13:35
ホテル 萩観光ホテル、ホテルミレオマール（田万川町）ほか
※申し込みは10日前まで、1人から利用できます。また、7日間までの延泊（6泊7日）が可能です。
申し込み ANAスカイホリデー予約・案内センター 東京（03・6251・8600） 大阪（06・6375・8600）



萩の特産品がまた一つ増えました。 ―見島牛・見蘭牛の加工品―

萩市堀内の農業生産法人「萩見蘭牧場」が、昨年12月、国の天然記念物指定の「見島牛」と、その交配種の「見蘭牛」を素材に使ったハム・ソーセージの販売を開始しました。

萩見蘭牧場は、平成12年3月に設立。萩市が同市木間地区に造成した萩木間畜産団体に進出し、約120頭の見島牛と見蘭牛を飼育しています。

牛肉は熱加工の際に脂が溶け出し易いため、なかなか加工が難し



▲旨み・コクが自慢、見島牛・見蘭牛の加工品



▲ギフトセット

といった課題も多く、製品化されているケースは少ないのが現状ですが、「萩見蘭牧場」では2年以上の期間をかけて研究を重ね、製品化に成功。商品としては、見島牛100%のウインナーや、見蘭牛のウインナー・サラミ・ソーセージ・パストラミビーフ・一夜干の6品目。

製造は萩市堀内のミドリヤファーム内の加工場で、すべて手作りの少量限定生産。ミドリヤファーム内の販売所やインターネット販売・通信販売で入手できます。「地産地消の流れの中、たとえば、萩産の新ワカメやヒジキ・イリコといった萩自慢の海の幸をウインナーにブレンドしたりと、萩の特産品を取り入れたユニークで、かつ安心安全な食肉加工品開発に、今後も積極的に取り組んでいきたい」と藤井常務。

★プレゼント 萩ネットワーク読者の皆さんに、見島牛・見蘭牛のハム・ソーセージ詰合せ（ギフトセット 3,000円）を抽選で3名様にプレゼント。
〒758-8555 萩市江向510 萩ネットワーク協会 プレゼント係宛
官製ハガキでご応募ください。締切は平成16年5月末日（必着）。

萩発旬の味便り

萩のキジハタ (アコウ)



▲抱卵したキジハタの40cm級

◆都市部では幻の高級魚が、萩では身近なお魚。

身の締まりが良く、しかも淡泊な白身で人気があるハタ類。その中でも、超高級魚とされる種類がキジハタ。関西方面では「アコウ」と呼ばれ、高級料亭でしかお目にかかれない希少な魚です。沿岸性の定着魚で、海岸や磯近くの浅い岩礁帯や防波堤などに生息、エビ・カニといった甲殻類やアジなどの小魚を食べています。エサ自体が栄養に富んでいるため、あの締まりのある美味しい白身となる訳です。

場荒れの少ない萩の豊かな海に

●アラ汁（白味噌仕立）



●キジハタのお刺身

一年中漁獲されますが、旬は初夏から秋口まで。お薦め料理は、やはりお刺身。身に弾力があるため、刺身は3mm程度と比較的薄めに引くのがコツです。淡泊な白味の旨みと、コリコリとした弾力のある食感が食通を唸らせます。刺身を引いた残りの中骨や頭の部分は、白味噌仕立ての汁に。アラから細かい上質の脂が浮き出し、見るからに美味しそうです。その他、煮付けや酒蒸しなどでも美味しく召し上がれます。

◆お薦めは、薄造りと白味噌仕立ての汁。

魚体にある赤い水玉模様から来ていると推測しますが、萩では「あかみず」の名前で呼ばれ、宴席の舟盛りのメイン魚種とするなど、当地でもハレの席の高級魚として人気があります。

魚体にある赤い水玉模様から来ていると推測しますが、萩では「あかみず」の名前で呼ばれ、宴席の舟盛りのメイン魚種とするなど、当地でもハレの席の高級魚として人気があります。

は、現在でも多くのキジハタが生息し、魚市場にも活魚としてコンスタントに入荷しています。通常30cmから大きいものでも50cm止まり、価格は萩現地の店頭販売価格で30cm級が2000〜3000円。これが都市部の市場に行って、たとえば大手デパートの地下食料品売場に並ぶと3倍近い価格になったりします。

阿武町、須佐町が萩広域合併協議会から 離脱。1市1町4村で新たな協議会設置へ

3月27日、阿武町、須佐町の両町で町議会が開催され、萩広域1市3町4村の合併協議会から離脱される旨の意志決定をされました。

これを受けて、3月31日に開催された第19回萩広域市町村合併協議会において、阿武町長から「議会の決定に従って離脱という決定を行った」、須佐町長から「合併後は本町が周辺部になり、民意が届きにくく、各種行政施策の反映が困難になるなど、萩広域との合併に難色を示す意見が多かった」と協議会からの離脱

の宣言とそれに至った経緯の説明がありました。

協議会では、2町からの離脱表明を受け、協議会会長・野村萩市長は、直ちに協議会の休止を宣言し、今後は、残った田万川町、川上村、むつみ村、旭村、福栄村の1市1町4村で、新たな合併協議の枠組みの検討を行うための準備会を設置することを述べました。

野村萩市長は「一年半にわたり合併協議を共に進めてきた立場からすれば、二町の離脱は大変残念です。今後もしれば『萩広域は一つ』という理念のもと広域合併の扉は開いておきたい」と話しました。



記者会見する小田孝詞阿武町長（左）と小田徳太郎須佐町長

▲三輪和彦氏アトリエ

萩市内から2建築物が 世界的デザイン賞を受賞！

萩市内の2つの建築物（三輪和彦氏アトリエ、藤井邸）をデザインした三分子博志建築設計事務所（広島市）が、ar+d賞2003を受賞しました。この賞はアーキテクチュラル・レビュー誌と有名なデンマークの建築デザインのd line社が1999年に創設した世界をリードする若き建築家のためのコンペです。世界60か国以上の応募からの受賞です。



▲藤井邸

卒業式



3月19日に行われ、4年生77人が卒業しました。大学を取り巻く環境が大変厳しい状況にある中、卒業生は就職・進学に大健闘しました。

就職については、3月19日現在で、就職希望者48人に対し40人（83%）が就職しました。主な就職先は公務員、福祉関係、貿易関係、サービス業など国内外へ幅広いものとなっています。

進学については、3月19日現在で、進学希望者12人に対して12人全員が進学しました。主な進学先は、山口大学大学院、下関市立大学大学院、慶応義塾大学大学院、広島経済大学大学院等です。

萩国際大学

入学式

4月9日に行われ、22人（留学生4人）が入学しました。新入生を代表して水島大典さんが宣誓したあと、畑地正憲学長が式辞を述べました。

留学生は昨年度より減少しましたが、日本人学生は18人で昨年度に比べ増加しました。

また今回、教育体制の改革により3コースに再編成されました。各コースの入学者は国際学科ゴルフ文化コースが15人、同コミュニケーションコースが4人、経営情報学科総合ビジネスコースが3人となっています。

学長が交代

萩国際大学の村上巨生学長が辞任され、新たに畑地正憲教授（前副学長）が4月1日付けで学長に就任されました。

▼プロフィール 長崎県出身。長崎大学芸学部卒。山口大学名誉教授。専攻分野は東洋史。



■畑地正憲
新学長

日本造船の父 渡邊 蒿蔵 (松陰 門下生)

遺品が萩市に

吉田松陰の門下生で、わが国造船界の草分け的存在であった渡邊蒿蔵(旧姓天野清三郎)の遺品が4月20日、ひ孫の渡辺寛さん(千葉県浦安市在住)から萩市に寄贈されました。



渡邊 蒿蔵 (渡欧前 1867年)

渡邊蒿蔵は川島に生まれ、幼くして天野家の養子となりましたが、維新後渡邊家に戻り蒿蔵と名を改めました。安政4年(1857)、15歳の時に松下村塾入門し、松陰からも大きな期待を寄せられていました。のち久坂玄瑞らと行動を共にし、奇兵隊にも加わっています。

慶応3年(1867)には藩命で、河北義次郎らと共にロンドンに渡り、造船学を修めました。明治初年に帰国してからは、長崎造船局長として活躍しています。退職後は帰郷して、松下村塾保存事業に地元有志代表として尽力しました。昭和14年(1939)、松陰門下生としては最高齢の97歳で亡くなりました。

寄贈した遺品を紹介する渡辺寛さん

寄贈品には、留学時代の写真・日記、船のエンジンの設計図や晩年に萩で松陰の生涯を描いた画集、桐箱入りの木戸孝允からの書簡などがあります。寛さんは萩市江向八丁筋にある蒿蔵の旧宅と敷地の一部も萩市に寄贈しており、萩市では「まちじゅう博物館」構想の中に組み入れ今後旧宅を復元・修理して遺品を展示する予定です。

FMウオーク in 萩



谷原 章介

FMウオーク in 萩は、JR西日本を展開する「DISCOVER WEST KANSAI」の一環として、萩市観光推進協議会とNHKサービスセンターが、萩開府400年を記念して実施する企画です。4月から半年間、萩市役所庁舎内にミニFM局を開局し、桂小五郎と幕末の志士たちゆかりの萩の歴史、文化、見どころ、大河ドラマにまつわる話や出演者のコメントなど、楽しい情報が放送されています。

4月3日、オープニングイベントとして、萩市役所ロビーで俳優の谷原章介さん(大河ドラマ「新選組」に参謀の伊東甲子太郎役で出演中)、葛西聖司NHKアナウンサーを招き、生放送されました。

10月2日まで情報を毎月更新し、午前9時から午後6時まで放送しています(周波数:76.1MHz)。

「将来は妻の実家がある萩に修養の場を作りたい」

「師範塾」代表 木村貴志さん

教師、父母、あらゆる方々の教育力を高めるために教育に関する各種セミナーや情報発信、教育政策提言を行っているNPO法人「師範塾」。その理事表を務める木村貴志さんは、印刷会社務めの後、中学校の国語教師だった父の影響もあり、公立高校の国語教師に転身。昨年3月、高校教師の職を自ら辞し、教育のあり方に一石を投じるため教師研鑽の場「師範塾」をNPO法人化し、新たな一歩を踏み出しました。夫人は萩市堀内(民宿)のご出身。

「本気で教育を良くするために、なんとしても学校教育の場には人材を得なければなりません。そのためには、教師が弁護士、経営コンサルタント、作家等各界の第一人者から直接に学び、切磋琢磨する場を官ではなく、民の立場から作る必要がある。」

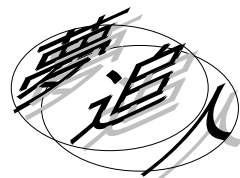
師範塾は、まだ産声をあげたばかりですが、将来は全国にそのネットワークを広げ、教師一人から教育改革を実現したい。全国に100万人いる教師の意識が変われば、教育は必ず良くなります。



なります。

将来は妻の実家がある萩に修養の場を作りたいと願っています。「全国の教師、父母、子どもたちが松下村塾のあった地で豊かな自然と先人の思いにふれることができ、私塾や藩校など日本の教育の系譜を大切にしたいネットワークの拠点になれば、日本の教育界にとって大きな意義があると思います。」

■プロフィール 昭和37年福岡県生まれ。山口大学文学部卒。平成15年3月よりNPO法人「師範塾」理事長。著書に「なにが幼い命を奪ったのか」(共著)、「大人の責任」(共著)、櫻井よしこ、小林よしのり等との教育対談集



農業

吉村 剛氏

(47歳 萩市三見在住)

萩市三見で有機栽培農業を営まれている吉村さんにお話を聞きました。



三見に帰郷し、農業を始めてから、16年経ちました。

私は、生後一歳半のとき、当時流行していた小児麻痺に冒されました。左足を残して体が動かなくなり、現在も、特に左腕に後遺症が残っています。

そんな私のために、父は会社勤めを辞め、養鶏業を始めました。父は早くに亡くなったため、子供のころから養鶏業を手伝っていました。そのため私は、健康や、生命に関する事については、いた

って敏感です。

高校卒業後、養鶏業に従事していました。26歳の時、アメリカへ研修に行きました。1年半農場で働いて、半年大学で養鶏について学ぶというものでした。この農場は、年間30万羽を出荷する育成場で、当時1万羽に満たない農場主の私にとっては、大変な規模の農場でした。帰国後、絶え間ない規模拡大と、工場化を必要とされるこの仕事に疑問を感じ、一時期、岐阜の孵化場に勤めました。

有機栽培農業を目指す！

この後、ヨーロッパを3か月旅行し、色々な人たちと出会い、彼らの生活に触れました。しかしまだ、目標が定まらず、とりあえず、苦手なコンピュータを習得する為に、広島県の職業訓練校に入りました。ここで、大手のソフト会社に就職が内定した時、悩みました。自炊で使うスーパで買うキャベツは、夏でも虫食いの穴一つない。将来、自分の子供には食べさせたくないものでした。

農業が厳しいことは良くわかっていました。生産物に、自分で値段をつけることもできないのだから。有機栽培農業を目指したのは、私が身を持って、健康であることが大切だと認識しているからです。しかし、いざ野菜作りを始めるのと、やはり大変でした。長年、化学肥料だけを入れつづけた土地は、固く締まり、水はけが悪く、野菜は上手く育ちません。土地改良のため、数百トンの堆肥を入れました。

子供たちに安心して食べさせられる農産物を！

現在の私の農業形態は、ブロッコリーを中心に、キャベツ等の路地野菜、萩で古くから栽培されている田家なすをブランド化した「萩たまげなす」、ほうれん草、春

菊といった施設野菜、アイガモを使った水稲の三つが主体となっています。できるだけ農業を使わずに、堆肥や緑肥を中心とした土作りに力を入れ、特に、子供たちが安心して食べるのできる食物の生産を心がけています。

昨年、鯉ヘルペス、狂牛病、鳥インフルエンザ等、相次いで発生し、大規模経営の抱える問題点、輸入農産物に頼りきっている日本の食糧事情が露呈しました。食料自給率は40%を割り、世界一の食糧輸入国です。

私たち農家は、世界一高額な農業生産資材とエネルギーを使い、色々な工夫をしながら、農産物を生産しています。鮮度、品質、安全性では引けを取りません。

萩やその周辺部の「田舎」の魅力を発信。

農業の多面性という言葉聞いてずいぶん経ちますが、バブル崩壊後、大量生産、大量消費の反省に立つてスローライフ、スローフードという言葉が聞かれるようになってきました。その延長線上にグリーンツーリズムがあります。

昨年11月に、イギリスのグリーンツーリズムを体験する研修旅行に参加する機会を得ました。農家に泊まることができたのは、一泊だけでしたが、彼らが農業を通じて自然を愛し、自然と建物の調和

のとれた美しい景観を守っていくことを誇りにしている事を感じました。そのことが広く海外からも訪問者を招いています。

私も今後、「萩たまげなす」など、農産物の生産と販路拡大に取り組むとともに、特に、農業の重要性とすばらしさをわかってもらうために、グリーンツーリズムの要素である農家民泊や、農業体験などのプログラムを開発したい、農家と消費者、農村に住む者と都市住民との交流により相互理解を深め、萩やその周辺部の「田舎」の魅力を発信していきたいと思えます。



▲昨年、イギリス コッツウォルズ地方の農家に滞在、先方の家族と一緒に。

■プロフィール
1956年生まれ 三見小、三見中から萩高校卒業
■住所 萩市三見1-872
Eメール tmtks@hagin.ne.jp

萩市内の全中学、高校に画文集を寄贈

萩市出身の女性日本画家・内田青虹さん（東京都西東京市在住）が、市内9中学校と4高校に画文集（A4版、カラー、86ページ、美術年鑑社）を寄贈されました。

これからの次代を担う方々に

日本人は優秀な民族です

それは日本古来からの歴史に目を向ければよくわかりま

す

四季の移り変わりに物のあわれを心に感じる

精神文化や伝統文化の素晴らしさは

日本独自の信・義・礼を重んじる魂の文化です

次代を担う若い人々に日本人としての美点を

受け継いで自分の出来る事で目標を持って

夢と希望を抱いて、一度だけの人生を

大切に輝いて生きて行きましょう

萩は吉田松陰先生の教えを受けた維新の志士達が

この国を思い命を賭けて行動を起こした

歴史上誇れる郷里です

この地より再び心ある志士の生まれることを

祈念致します

平成十六年 三月吉日

内田青虹



雪をイメージ

萩焼個展「浄・JYO」を開催

萩焼作家 三輪華子さん

3月10日から21日まで、東京都中央区銀座のフジ斗画廊で三輪華子さんの萩焼個展が開かれました。

「浄」は、雪の清らかなイメージを表すとともに「戦争のない平和な世界になって欲しい」という願いが込められています。



▲内田青虹さん

内田青虹画文集



★プレゼント 内田青虹画文集をネット

ワーク読者5名様にプレゼント。希望者はハガキにプレゼント名、住所、氏名、本誌の感想を記入のうえ、萩ネットワーク協会へ。締め切りは5月末日（必着、発表は発送をもってかえします。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

初期伊万里展

～染付と色絵の誕生～

5月23日まで

受贈記念

松村實コレクション展

5月23日まで

周東町出身の実業家、故松村實氏の遺族が県に寄贈した、中国、朝鮮、日本の陶磁器などの美術品49点を紹介。



▲青花牡丹唐草文鉢

肉筆浮世絵名品展

5月29日～7月19日

喜多川歌麿の重要文化財「更衣美人図」をはじめ、肉筆浮世絵の歴史を見わたせる主要作品約100点より江戸の粋の世界を紹介。



「天空の茶室」



同時代的な視点に立った、最も先端性を出す表現活動を展示する和風展示室。8回目の今回は藍染の第一人者福本潮子さん（大阪市出身）による「天空の茶室」が展示中です。

「四畳半の茶室を宇宙に見立てました。客用の椅子は1880年代のビクトリア朝時代のものに藍染めした最高級の綿ペルベットを張りました」。夜空にまたたく星のような白点、深遠な空間の広がり暗示する青色の滲みなど、藍染めの持つ幽玄の世界が立礼席に設えた四畳半の茶室に表現されています。

展示期間 平成17年3月27日まで

情報アラカルト

関東地区

■秋光塩学院同窓会関東支部

秋光塩学院関東支部の同窓会を次のとおり開催します。

とき 6月13日(日) 午前11時

ところ 杉並区高円寺 メルセス会修道院

■ポランティアメッセ2004
「つながりあう未来のミュージアム」

萩市郷土博物館が「維新の浪漫・萩〜中嶋治平の残したモノづくり〜パン、ガラス、写真」と題し、幕末パンの試食、幕末・維新に関するクイズなど多様な手法で萩の情報発信を行います。

とき 5月5日(祝)

ところ 東京都江東区青海2-41-3 日本科学未来館

■岡田裕 作陶展

萩焼作家 岡田裕の作品が展示されます。

とき 6月22日(火)〜28日(月)

ところ 埼玉県所沢市 所沢西武百貨店

■坂高麗左衛門展

萩焼作家 坂高麗左衛門の作品

が展示されます。

とき 6月23日(水)〜29日(火)

ところ 東京都中央区 日本橋高島屋

関西地区

■関西からたち会総会

からたち会関西支部の総会を次のとおり開催します。

とき 6月12日(土) 午後6時30分

ところ 大阪市北区菟我野町 民芸茶屋 豆狸

■兼田昌尚展

萩焼作家 兼田昌尚の作品が展示されます。

とき 6月16日(水)〜22日(火)

ところ 大阪府北区 阪急百貨店うめだ本店

中部地区

■兼田昌尚展

萩焼作家 兼田昌尚の作品が展示されます。

とき 5月27日(木)〜6月2日(水)

ところ 長野県長野市 東急百貨店

東海地区

■東海指月会総会

東海指月会総会を次のとおり開催します。

とき 7月11日(日) 正午

ところ 名古屋市中村区 名古屋マリオットアソシエホテル

■三輪休雪個展「金彩シルクロード」

萩焼作家 三輪休雪の作品が展示されます。

とき 6月23日(水)〜29日(火)

ところ 名古屋市中区 松阪屋名古屋本店

中国地区

■大屋窯展

大屋窯の作品が展示されます。

とき 5月11日(火) まで

ところ 島根県大田市大森町ハ183・群言堂石見銀山本店

■山口県萩の味まつり

萩の瀬つきあじなどの魚介類、相島のすいかなどの果物のほか、夏みかんジュースなどの夏みかん菓子製品、萩の地ビールなどが販売されます。

とき 6月7日(月)〜10日(木)

ところ 広島市中区 広島三越

山口県関係

■岡野芳子・25周年展 花と人形「母と子の夢遊び」

アートフラワー、アート盆栽、

映画 「ほたるの星」

6月上旬からいよいよ全国公開！

昨年4月から明倫小学校など県内各地で撮影された映画「ほたるの星」。山口県内では3月から先行上映され好評を博しているこの映画がいよいよ全国でも上映されます。ぜひ親子でご覧ください。

●内容

新米教師と子ども達
が美しい自然を舞台に
贈るさわやかな感動作。
難題にぶつかりながらも
純粋な心でほたるの飼育という目標に向かう姿に共感と感動を与えられます。

主演：小澤征悦
監督：菅原浩志



創作人形、萩人形約200点が展示されます。

とき 5月1日(土)〜5日(祝)

ところ 山口市 クリエイティブスペース 赤れんが

■伝統工芸新作展

萩焼作家 岡田裕・波多野善蔵、野坂康起ほか萩市在住12人の作品が展示されます。

とき 6月1日(火)〜6日(日)

ところ 山口市龜山町 山口県立美術館

とき 6月9日(水)〜14日(月)

ところ 下関市 下関大丸

九州地方

■九州指月会

九州指月会を次のとおり開催します。

とき 7月11日(日) 正午

ところ 福岡市中央区天神 平和楼

■14回筑後吉井の小さな美術館めぐり「戸村孝子の世界」

戸村孝子(萩市出身横浜市在住、日本美術家連盟会員、演劇人会議会員、演出家・鈴木忠志のもとで舞台美術担当)による油彩の大作10数点が若宮八幡宮境内の回廊に展示されます。

とき 5月1日(土)〜5日(祝)

ところ 福岡県吉井町 若宮八幡宮

■濱中史朗展

大屋窯の濱中史朗の作品が展示されます。

とき 5月20日(木)～6月8日(火)
ところ 福岡市中央区 ムービングギャラリー望雲
(092・733・1135)

萩市関係

吉賀大眉・子・孫 三代四人展

吉賀大眉、吉賀將夫、吉賀暁、吉賀伸四人の作品が展示されます。
とき 8月31日(火)まで
ところ 萩市椿東 吉賀大眉記念館 (0838・26・5180)

出展者紹介

●吉賀大眉 東京芸大卒、日展特選受賞、日本芸術賞受賞、文化功労者として顕彰、平成3年死去。

●吉賀將夫 (吉賀大眉長男) 日展文部大臣賞、日本芸術院賞など受賞。現在、山口大学教授61歳。

●吉賀暁 (吉賀將夫長男) 東京芸大で金属工芸専攻、サロン・ド・フランタン賞など受賞。現在は工芸美術作家として活動中。東京在住30歳。

●吉賀伸 (吉賀將夫次男) 筑波大学で彫刻を専攻、大学院を終了後、東京芸大大学院に進み、新制作展新人賞を受賞、現在は東京芸大彫刻科非常勤講師を務めている。東京在住27歳。

■萩工業からたち会総会

からたちの会の総会を次のとおり開催します。

とき 5月8日(土) 午後6時30分

ところ 萩工業高校体育館

■萩高同窓会八八会

萩高同窓会八八会を次のとおり開催します。今年の引受期は41期(平成元年卒)

とき 8月8日(日) 午後7時

ところ 萩高等学校体育館

■織と染のしつらえ展

3月に萩市下五間町の旧百万石隣に、伊勢嶋夫婦が約百年前の古い商家を活用した喫茶店「徒然庵」がオープンさせました。

衝立、のれん、タペストリー、きもの古着などが展示されます。

とき 5月9日(日)まで

ところ 萩市下五間町50 徒然庵

(0838・262428)

■ヴィレッジのコンサート

ジャズピアニスト 小曾根真とヴォーカル 伊藤君子のコンサートが開かれます。

とき 6月14日(月) 午後7時、

午後9時(2回公演)

ところ 萩市土原 喫茶ヴィレッジ

入場料 8000円

問い合わせ ヴィレッジ (0838・25・6596)

■俣宿天十平の展示

●「器をひきたてる器」展

お料理、折敷やお膳、盆等は器をひきたてる器です。箸やフォーク、スプーンも器をサポートするアクセサリーです。観て味わって戴きます。

とき 6月26日(土)～7月4日(日)

●料理会

骨董の膳などと三輪和彦氏の器をコラボレートし、吉兆出身の出張料理人・佐々木志年氏の料理会が併催されます。(一日限定12名、電話予約)

とき 6月26日(土) 27日(日)

28日(月) 7月2日(金) 3日(土)

4日(日)

問い合わせ 俣宿天十平

(0838・26・6474)

■ぎやらりい彩陶庵の展示

●高橋禎彦個展

神奈川県在住のガラス作家 高橋禎彦の作品が展示されます。

とき 7月16日(金)～22日(木)

ところ 萩市呉服町 ぎやらりい彩陶庵 (0838・25・3110)

出版情報

■「会津藩vs長州藩」 星亮一 著

福島在住の著者が、会津と長州の和解を念頭に、双方に横たわる根本問題を整理、怨念が生まれた背景を浮き彫りにしながら今後の

展望をシュミレーションしている話題作です。

新書判224ページ。

定価 819円(税込)

出版 KKベストセラーズ

■「文芸春秋」2月号

「平成の宰相論 高杉晋作の呪縛く小泉も菅もなぜ高杉に改革者の理想を見るのか」で高杉晋作がとりあげられています。

■「五稜郭を落とした男」 秋山香乃著

山口県出身の名将・山田顕義を吉田松陰、久坂玄瑞、高杉晋作の巨脈の中で描いた歴史小説。B5判456ページ。

定価 1890円(税込)

出版 文芸社

■JAL機内誌「SKYWARD」5月号

「400年の変わらぬ町割を歩く」というタイトルで萩の紹介がされています。

■山口県史

・第16回配本『史料編 中世3』 大津、阿武地区などに現存する文治元年(1185)～慶長5年(1600)の原文書を中心に収録。
A5版1210ページ

定価 6825円(税込)

・第17回配本『史料編 幕末維新2』

天保期後半から弘化・嘉永期における政治・社会の動向を通観することを目的として、この

時期の藩政史料を収録しています。

A5版1100ページ

定価 5775円(税込)

予約申し込みの問い合わせ

山口県刊行物センター

内 山口県刊行物普及協会

(083・933・2583)

■「花時間」7月号

萩焼作家 兼田昌尚さんの作品が紹介されます。

出版 角川書店

定価 990円

6月7日(月) 発売予定

■「東京幕末史探訪(仮)」一坂太郎著

出版 中公新書

6月25日(金) 発売予定

テレビ情報

■新選組紀行

大河ドラマ「新選組」放映後のゆかりの地紹介コーナーで、萩城跡、松下村塾、松陰誕生地などが紹介されます。

放映予定 7月4日(日)、7月

25日(日) 午後8時40分過ぎ

放送局 NHK総合

■NHK特集ドラマ「シェエラザード」

萩市出身の俳優・松本実さんが

柳井上等兵役として出演します。

放映予定 7月下旬

放送局 NHK総合

放送局 NHK総合

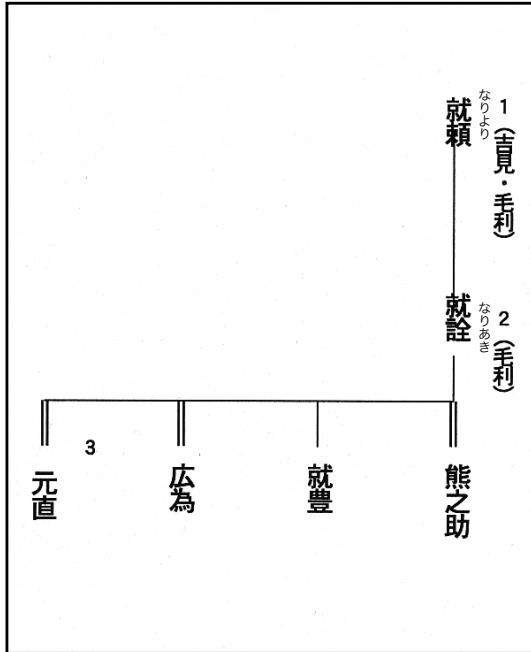
新博物館建設地、

大野毛利家と屋敷地の変遷(4)

―大野毛利家屋敷地の変遷、その二―

大野毛利家初代毛利就頼は延宝4年(1676)7月17日に70歳で死去し、就頼の二男就詮が同年8月21日に家督を継ぎました。しかし、就詮には嫡子がいなかったため、延宝8年5月7日、2代萩藩主毛利綱広の三男熊之助(のち、右京進)に大野毛利家を継がせることになりました。翌天和元年(1681)2月23日、就詮は空き地となっていた堀内一本松の屋敷地を拝領し、堀内本町の上屋敷地(萩博物館の建設地、「中の惣門北の角屋敷」と呼ばれた)を藩へ献上しました。就詮が拝領した堀内一本松の屋敷地は、現在、重要文化財厚狭毛利家長屋のあるところで、萩城二の丸の大手にあたる南門の向かい側に位置していました。就詮は中の惣門北の角屋敷である堀内本町の上屋敷地を藩に献上するかわりに、きわめて城に近いこの屋敷地を望んだのでした。

大野毛利家系図



なぜ大野毛利家は、堀内本町の上屋敷地を藩に献上したのでしょうか。はっきりした理由はわかりませんが、おそらく2代藩主綱広の三男熊之助を就詮の養子として大野毛利家を相続させるにあたって、熊之助を堀内本町の上屋敷地に住まわせたのではないかと考えられます。藩にとつては、現藩主の実子の住居として屋敷地を藩の所有とする必要があったのではないのでしょうか。しかし、熊之助は貞享2年(1685)9月9日に弱冠12歳で死去しました。

この熊之助の死去が契機となって、翌貞享3年、堀内本町中の惣門北の角屋敷は、再び寄組渡辺家(石高1154石余)が上屋敷地として拝領することになりました。ついで、貞享4年2月11日には、先に大野毛利家が拝領した堀内一本松の屋敷地は、厚狭毛利家(萩藩主毛利家一門、石高8371石余)によって買得されました。この時点で、大野毛利家は藩に献上した堀内本町の上屋敷地と、堀内一本松の屋敷地を相次いで失いました。では、大野毛利家はどこに屋敷地を求めたのでしょうか。実は、大野毛利家は堀内の南側に位置する平安古の惣門前の屋敷地に移り住んだのです。この地は、寄組児玉家(石高2243石余)の屋敷地で、現在、児玉家長屋門があるところです。正徳4年(1714)に堀内本町中の惣門北の角屋敷を再び拝領するまでは、大野毛利家は平安古の惣門前の屋敷地を上屋敷としていたのです。

このように、就詮の代に大野毛利家の上屋敷地は目まぐるしく変遷しました。それとともに、就詮の代には大野毛利家の継嗣も、激しく変転しました。先に記したように、就詮には嫡子がいなかったため、延宝8年(1680)5月7日に2代萩藩主綱広の三男熊之助を跡継ぎに決めましたが、貞享2年(1685)9月9日に熊之助は死去しました。そこで貞享3年、就詮の妾腹の子を大野毛利家の跡継ぎとし、毛利就豊と称しました。ついで元禄4年(1691)5月7日、2代藩主綱広の5女勘姫を就詮の養女とすることになり、元禄11年(1698)9月21日、就豊との婚儀が調いました。とこ

ろが、元禄14年3月15日、就豊が出奔したために、同年7月7日勘姫と離縁となりました。

再び就詮の跡継ぎがいなくなったので、元禄16年(1703)6月19日、永代家老福原広俊(石高1万1314石余)の二男(実は五男)を養子とすることになり、翌宝永元年8月29日に養子縁組が調い、毛利広為と称することになりました。しかし、正徳4年(1714)3月11日、福原家当主で広為の実兄にあたる広頼が32歳で死去したので、広為が実家の福原家を継ぐことになりました。就詮は三たび跡継ぎがいなくなり、就詮本人も正徳4年4月3日に84歳で死去しました。

正徳4年(1714)6月15日、2代藩主綱広の5男毛利元重の長男にあたる万之助が、就詮の跡を受けて大野毛利家を継ぐことになり、毛利元直と称し、大野毛利家3代となりました。元直は、大野毛利家を継いですぐの同年6月23日に、堀内本町中の惣門北の角屋敷を上屋敷として拝領しました。大野毛利家は、平安古の惣門前の屋敷地から再び旧地に返ることになったのです。このとき、拝領した屋敷地は、それまでの約2倍の広さとなっており、表側には堀内本町に面し、裏側には堀内後町に面した街区割りの一面を占めることになりました。これ以降、明治維新に至るまで大野毛利家の上屋敷地は、変わることもなく堀内本町中の惣門北側に存続しました。(完)

萩市郷土博物館 樋口尚樹

新規加入会員ご紹介

- ・森下正治さん (萩市)
- ・森重耐子さん (萩市)
- ・福田雅次さん (萩市)
- ・中野紀昭さん (萩市)
- ・吉見泰亮さん (神奈川県厚木市)
- ・山本佳郎さん (神奈川県厚木市)
- ・杉山智香さん (京都府京都市)
- ・田中文彦さん (鳥取県気高町)
- ・原 洋子さん (阿武郡旭村)
- ・大村光喜さん (神奈川県横浜市)
- ・小川キヨ子さん (兵庫県西宮市)
- ・高橋愛子さん (埼玉県大井町)
- ・石田 博さん (神奈川県横浜市)
- ・河村 進さん (大阪府高石市)
- ・岡本由美さん (大阪府大阪市)
- ・小野清和さん (大阪府堺市)

(2004.3.1 ~ 2004.4.28 加入者)